

平成22年度 病虫害発生予察情報

発生予報第5号（7月後半）

平成22年7月7日
島根県

予報の概要

区分	農作物名	病虫害名	予想発生量		
普通作物	イネ	葉いもち	平年並		
		穂いもち	平年並		
		紋枯病	やや少ない		
		白葉枯病	平年並		
		縞葉枯病	やや多い		
		ヒメトビウンカ	やや多い		
		ニカメイチュウ	平年並		
		ツマグロヨコバイ	やや多い		
		セジロウンカ	多い		
		トビイロウンカ	平年並		
		コブノメイガ	平年並		
		斑点米カメムシ類	平年並		
		果樹	ナシ	黒斑病	平年並
				黒星病	やや多い
シンクイムシ類	平年並				
ハダニ類	やや少ない				
アブラムシ類	やや少ない				
カキ	うどんこ病			平年並	
	チャノアザミマ			やや少ない	
果樹全般	カメムシ類			やや多い	

中国地方1か月予報（7月3日～8月2日・広島地方气象台7月2日発表）

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（％） >

気温

20%	40%	40%
-----	-----	-----

降水量

30%	40%	30%
-----	-----	-----

日照時間

30%	40%	30%
-----	-----	-----

--	--	--

 低い（少ない）

--	--	--

 平年並

--	--	--

 高い（多い）

A. 普通作物

1) イネ

(1) 葉いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

7月6日現在、巡回調査地点における発病株率は2.2%（平年5.6%）とほぼ平年並みである。

感染好適日は、6月第6半旬～7月第1半旬に県内各地で出現しており、潜伏感染が一部見込まれる（ホームページ葉いもち情報参照）。

向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 穂いもち

予報内容

発生地方

県内全域

発生量

平年並

予報の根拠

伝染源となる葉いもちの発生量は平年並みと予想される。

7月後半の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。

- (3) 紋枯病
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや少ない
 予報の根拠
 7月6日現在、巡回調査地点における発病株率は1.2%（平年1.7%）と平年に比べてやや少ない。
 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (4) 白葉枯病
 予報内容
 発生地方 県内常習発生地帯
 発生量 平年並
 予報の根拠
 7月6日現在、発生は確認されていない。
 向こう1か月の気象は、本病の発生を特に助長する要因とはならない。
- (5) 縞葉枯病
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや多い
 予報の根拠
 前年に比べて発生量はやや少ないものの県内各地で発生が認められる。
 媒介虫であるヒメトビウンカの発生量は平年に比べてやや多いと予想される。
- (6) ヒメトビウンカ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや多い
 予報の根拠
 7月上旬の巡回調査では、捕獲数は0.3頭（平年0.3頭/50株）、発生圃場率は17.2%（平年4.4%）で発生量は平年に比べてやや多い。
 向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。
- (7) ニカメイチュウ（第1世代）
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並
 予報の根拠
 予察灯、フェロモントラップにおける誘殺数は平年に比べて少ない。
 7月上旬の巡回調査では、発生圃場率は1.7%（平年5.6%）、被害株率は0.1%（平年0.3%）で発生量は平年並みである。
 向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。
- (8) ツマグロヨコバイ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 やや多い
 予報の根拠
 7月上旬の巡回調査では、捕獲数は5.1頭（平年2.9頭/50株）、発生圃場率は63.4%（平年36.1%）で発生量は平年に比べてやや多い。
 予察灯での誘殺数は平年並みである。
 向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。
- (9) セジロウンカ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 多い
 予報の根拠
 予察灯への初飛来は、出雲市、浜田市で6月18日に観察された。その後6月21～22日、28～29日にかけて飛来が認められた。6月末までの誘殺数は平年並みである。
 7月上旬の巡回調査では、捕獲数は20.8頭（平年4.1頭/50株）、発生圃場率は62.1%（平年57.0%）で発生量は平年に比べて多い。
 向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。梅雨明けまでは多飛来に注意が必要である。
- (10) トビイロウンカ
 予報内容
 発生地方 県内全域
 発生量 平年並

予報の根拠

予察灯、粘着誘殺灯への飛来は6月末までに認められない。

7月上旬の巡回調査では圃場での発生は認められない。

向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。梅雨明けまでは多飛来に注意が必要である。

(11) コブノメイガ

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

予察灯、粘着誘殺灯への飛来は6月末までに認められない。

7月上旬の巡回調査では圃場での幼虫の発生は認められない。

向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。梅雨明けまでは多飛来に注意が必要である。

(12) 斑点米カメムシ類

予報内容

発生地方 県内全域

発生量 平年並

予報の根拠

6月下旬の圃場周辺雑草地でのすくい取り調査では、カメムシ類合計で2.1頭/10回振り、調査地点の35%（去年同期：0.8頭/10回振り・27%）で発生量は平年並みである。主要種はアカスジカスミカメ、トゲシラホシカメムシである。向こう一か月の気象は本種の発生を特に抑制する要因とはならない。

B. 果樹

1) ナシ

(1) 黒斑病

予報内容

発生地方 県内ナシ（二十世紀）栽培地帯

発生量 平年並

予報の根拠

6月28日の巡回調査では、発病葉率は5.9%（平年6.9%）であり、発生量は平年並みである。

向こう一か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) 黒星病

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生量 やや多い

予報の根拠

6月28日の巡回調査では、発病葉率は1.7%（平年0.6%）であり、発生量は平年に比べてやや多い。

向こう一か月の気象は本病の発生を特に抑制する要因とはならない。

(3) シンクイムシ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

発生時期 やや遅い

発生量 平年並

予報の根拠

フェロモントラップ（安来市、出雲市）でのナシヒメシンクイ第1世代の雄成虫の誘殺盛期は平年に比べやや遅く、誘殺数は平年並みである。

向こう一か月の気象は本種の発生を助長する要因とはならない。

(4) ハダニ類

予報内容

発生地方 県内ナシ栽培地帯

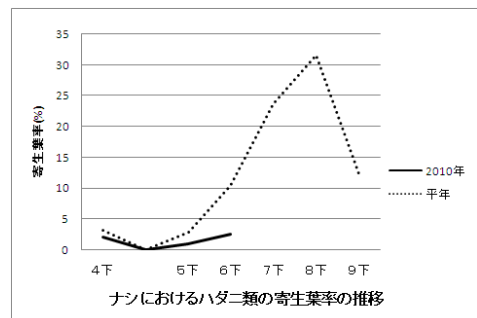
発生量 やや少ない

予報の根拠

6月下旬の巡回調査では寄生葉率2.3%（平年10.5%）でやや少ない。

向こう一か月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

クワオオハダニが見られる圃場もあるため使用薬剤には注意が必要である。



(5) アブラムシ類

予報内容

発生地方

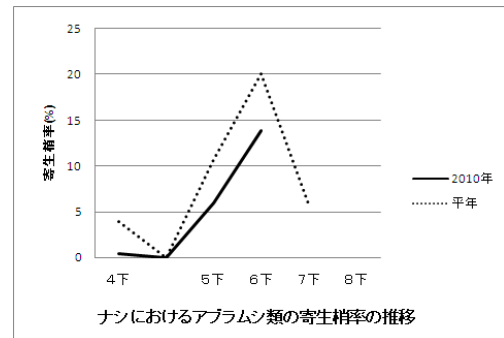
県内ナシ栽培地帯

発生量

やや少ない

予報の根拠

6月下旬の巡回調査では寄生梢率13.9%
(平年20.0%)でやや少ない。
向こう一か月の気象は本虫の発生を特に
助長する要因とはならない。



2) カキ

(1) うどんこ病

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

平年並

予報の根拠

7月1日の巡回調査では、発病葉率は0.1% (平年0.4%) であり、発生量は
平年並みである。
向こう一か月の気象は本病の発生を特に助長する要因とはならない。

(2) チャノキイロアザミウマ

予報内容

発生地方

県内カキ栽培地帯

発生量

やや少ない

予報の根拠

露地圃場に設置した粘着トラップでの誘殺数は平年に比べてやや少ない。
向こう一か月の気象は本虫の発生を特に助長する要因とはならない。

3) 果樹全般 (カキ、ブドウ、ナシ等)

(1) カメムシ類

注意報第2号参照

予報内容

発生地方

県内果樹栽培地帯

発生量

やや多い

予報の根拠

予察灯 (出雲市) での7月1半旬までの誘殺数は897頭 (平年379.6頭) で平年
に比べやや多い。
向こう一か月の気象は本虫の発生を特に抑制する要因とはならない。

農薬の安全使用の徹底を!

- ・ 農薬の使用基準 (適用作物、使用量又は濃度、使用時期、総使用回数) を遵守する。
- ・ 防除履歴 (使用日時と場所、作物名、農薬の種類と量) を記帳する。
- ・ 農薬散布時には周辺作物に飛散 (ドリフト) しないように注意する。
- ・ 水田で使用する農薬の止水期間を守る。
- ・ 有効期限切れ農薬は使用しない。
- ・ 散布後は散布器具の洗浄を徹底し、空き容器は正しく処理する。
- ・ 病害虫の発生状況を把握し、必要最小限の農薬使用に努める。

島根県病害虫防除所

TEL 0853-22-6772

FAX 0853-24-3342

ホームページ

<http://www.pref.shimane.lg.jp/nogyogijutsu/byougai tyuu/>

